連載

市交際費の支出状況

令和８年度９月分

支出種別	区分	件数	金額（円）
弔　慰	今月分	0	0
	累　計	15	34,000
見舞い	今月分	0	0
	累　計	1	10,000
御　祝	今月分	5	15,000
	累　計	28	99,680
賛　助	今月分	0	0
	累　計	2	13,176
激励金	今月分	0	0
	累　計	0	0
接　遇	今月分	0	0
	累　計	1	2,160
会　費	今月分	2	8,000
	累　計	17	76,000
その他	今月分	0	0
	累　計	0	0
合　計	今月分	7	23,000
	累　計	64	235,016

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ　総務課 秘書係
☎0952-75-2115

「SOSを見逃さないために」

tomoni ikiru

11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」が実施されます。また、11月12日から25日までは「女性に対する暴力をなくす運動」の期間です。

親からの虐待も、女性に対する暴力も、家庭という外から見えにくい場所で起こります。「家庭の中のことだから、周囲が立ち入るのは難しい」と感じることもあるでしょう。しかし、大人の顔色をうかがい「助けて」と言えずにいる子どもが近くにいるかもしれません。また、女性に対する暴力は、身体への暴力だけではありません。心を傷つける言葉、行動の監視、生活費を渡さないことなども暴力に当たります。「自分が我慢すればいい」と考え、一人で苦しみを抱えている人もいます。

暴力や虐待は、決して許されない人権侵害です。こうした被害を受けている人を孤立させないためには、周囲の人が「何かいつもと違う」と気づき、小さなサインを見過ごさないことが大切です。例えば、不自然な傷がある、表情が乏しいといった様子です。もちろん一つの様子だけで虐待と決めつけることはできません。それでもこんな状態が続くときは、「最近、元気がないけれど、大丈夫？」と声をかけてみてください。その気づきと声かけが、誰かの命や尊厳を守り、孤立を防ぐ力になります。誰かが一人で涙を流すことのないよう、身近な人の小さな変化に気づく「あたたかな目」を、一人ひとりが持ちたいものです。

社会教育指導員　野中久美子（のなかくみこ）

香月正則の市長日記

地域に脈打つ伝統を未来へ

10月20日 記

秋風が心地よく吹く中、市内各地では地域で大切に守り継がれてきた伝統行事や秋祭りが華やかに行われています。

先日、東多久町別府八幡神社で別府一区の「面浮立（めんぶりゅう）」を拝見いたしました。鬼面をつけ、勇壮かつしなやかに舞う踊り手の姿、そして響き渡る笛や太鼓の音色には、地域の平安や五穀豊穣を願う人々の祈りが込められており、胸が熱くなりました。また、多久町多久八幡神社で執り行われた「奉納相撲」では、境内に響く熱い歓声とともに、土俵上で堂々とぶつかり合う子どもたちの健やかな姿に、地域全体で若い世代を見守る温かい絆を感じました。さらに、西多久町平古場の「宮地嶽（みやじだけ）くんち」をはじめとする各地区の秋祭りでも、世代を超えて人々が参集し、伝統の灯を絶やさぬよう心を一つにされているようすを拝見し、深い感銘を受けました。

これらの伝統行事は、一朝一夕に維持できるものではありません。人口減少や少子高齢化など、社会情勢の変化に伴う継承の難しさに直面しながらも、日頃の稽古や準備に尽力され、地域の宝を今日まで守り続けてこられた保存会や行政区、そして住民の皆さまのご苦労と深い郷土愛によって大切にされてきたものです。

地域で守り抜かれてきた祭りや伝統芸能は、人々の心を結びつけ、ふるさとと多久への誇りと愛着を育む、かけがえのない財産です。この温かい地域の絆と歴史ある文化を絶やすことなく、次の世代、そしてその先の未来へとしっかりと引き継いでいけるよう、市としても皆さまとともに歩んでまいります。



気軽に呼んでください！

行政区や各団体の催し、イベントなど、お気軽にお声がけください。どこにでも参ります！
市民のみなさんと
色んなことをお話しさせていただけたらと思います！

総務課 秘書係
☎0952－75－2115

